

事務連絡
平成26年9月11日

担当者 殿

農産安全管理課農薬対策室
課長補佐(農薬指導班担当)

短期暴露評価により変更される農薬の使用方法の変更について
(有効成分；アセフェート)

農薬の急性的影響の評価の結果に基づき必要となった使用方法の変更に係る、都道府県の防除指針等への反映、農薬使用者への情報の周知等については、「短期暴露評価により変更される農薬の使用方法の周知等について」(平成26年9月10日付け農産安全課長、植物防疫課長通知)でお知らせしているところです。

下記のアセフェートを有効成分とする農薬について、別紙のとおり使用制限となる登録の変更申請がされており、農薬の製造者から農薬販売者、使用者等に対して、変更後の使用方法を記載したチラシ等を用いて情報が提供され、変更後の使用方法に基づいて農薬を使用するよう注意喚起が行われております。

つきましては、貴職管下の都道府県に対し、変更の登録がされる前であっても、農薬製造者からの宣伝や製品に付された票せん等により提供されている変更後の使用方法に基づき農薬を使用するよう農薬使用者を指導するとともに、申請されている変更後の使用方法に基づき、都道府県の防除指針等への反映や生産者団体等が作成する防除暦の変更の指導等に努めるよう、周知指導いただくようお願いいたします。

記

有効成分：アセフェート

農薬名：ホクコーオルトラン水和剤(農薬登録第13175号、北興化学工業(株))

ホクコーオルトラン粒剤(農薬登録13177号、北興化学工業(株))

家庭園芸用ホクコーオルトラン水和剤(農薬登録第19566、北興化学工業(株))

家庭園芸用ホクコーオルトラン粒剤(農薬登録19568号、北興化学工業(株))

オルトラン水和剤(農薬登録第19992号、アリスタライフサイエンス(株))

オルトラン粒剤(農薬登録第19993号、アリスタライフサイエンス(株))

ジェイエース粒剤(農薬登録第20939号、全国農業協同組合連合会)

「興農」ジェネレート粒剤(農薬登録第20940号、興農股イ分有限公司)

ジェイエース水溶剤(農薬登録第20967号、全国農業協同組合連合会)

「興農」ジェネレート水溶剤（農薬登録第20968号、興農股イ分有限公司）
家庭園芸用オルトラン水和剤（農薬登録第21519号、アリスタ ライフサイエンス（株））
家庭園芸用オルトラン粒剤（農薬登録第21520号、アリスタ ライフサイエンス（株））
オルトランD X粒剤（農薬登録第21733号、住友化学園芸（株））
家庭園芸用G F オルトラン粒剤（農薬登録第21789号、住友化学園芸（株））
家庭園芸用G F オルトラン水和剤（農薬登録第21819号、住友化学園芸（株））
スミフェート水溶剤（農薬登録第21903号、住友化学（株））
スミフェート粒剤（農薬登録第21904号、住友化学（株））

別 紙

以下の農薬は、使用制限の変更登録の申請がされております。

1.

登録番号	農薬名（商品名）	農薬の種類名	製造者名
第13175号	ホコオ尔特ン水和剤	アセフェート水和剤	北興化学工業株式会社
第19992号	オ尔特ン水和剤	アセフェート水和剤	アリスタ ライフサイエンス株式会社
第19566号	家庭園芸用ホコオ尔特ン水和剤	アセフェート水和剤	北興化学工業株式会社
第21519号	家庭園芸用オ尔特ン水和剤	アセフェート水和剤	アリスタ ライフサイエンス株式会社
第21819号	家庭園芸用GFオ尔特ン水和剤	アセフェート水和剤	住友化学園芸株式会社
第13177号	ホコオ尔特ン粒剤	アセフェート粒剤	北興化学工業株式会社
第19993号	オ尔特ン粒剤	アセフェート粒剤	アリスタ ライフサイエンス株式会社
第19568号	家庭園芸用ホコオ尔特ン粒剤	アセフェート粒剤	北興化学工業株式会社
第21520号	家庭園芸用オ尔特ン粒剤	アセフェート粒剤	アリスタ ライフサイエンス株式会社
第21789号	家庭園芸用GFオ尔特ン粒剤	アセフェート粒剤	住友化学園芸株式会社
第21733号	オ尔特ンDX粒剤	アセフェート・クロチアニジン粒剤	住友化学園芸株式会社

■変更内容及び変更理由

【 変更内容（今回の使用制限変更にかかると部分のみ） 】

1) アセフェート水和剤

- ①作物名「なす」を削除する。
- ②作物名「キャベツ」の「使用時期」、「本剤の使用回数」及び「アセフェートを含む農薬の総使用回数」をそれぞれ「収穫7日前まで」から「収穫30日前まで」、「3回以内」から「1回」及び「3回以内」から「2回以内（定植時までの処理は1回以内、定植後の散布は1回以内）」に変更する。
- ③作物名「はくさい」の「希釈倍数」、「使用時期」、「本剤の使用回数」及び「アセフェートを含む農薬の総使用回数」をそれぞれ「1000～1500倍又は1000～2000倍」を「1500倍又は1500倍～2000倍」、「収穫14日前まで」から「収穫30日前まで」、「3回以内」から「1回」及び「3回以内」から「1回」に変更する。
- ④作物名「レタス」の「使用時期」を「収穫14日前まで」から「収穫30日前まで」に変更する。
- ⑤作物名「ブロッコリー」を削除する。
- ⑥作物名「だいこん」を削除する。
- ⑦作物名「はつかだいこん」を削除する。

- ⑧作物名「非結球あぶらな科葉菜類（ケール、からしな、みずな、ルッコラを除く）」を「非結球あぶらな科葉菜類（ケール、からしな、みずな、ルッコラ、たかなを除く）」に変更する。
- ⑨作物名「かぶ」を削除する。
- ⑩作物名「ばれいしょ」の「使用時期」、「本剤の使用回数」及び「アセフェートを含む農薬の総使用回数」をそれぞれ「収穫7日前まで」から「収穫30日前まで」、「4回以内」から「2回以内」及び「5回以内（植付時の処理は1回以内、植付後は4回以内）」から「3回以内（植付時の処理は1回以内、植付後は2回以内）」に変更する。
- ⑪作物名「トマト」及び「ミニトマト」を削除する。
- ⑫作物名「とうもろこし」を「未成熟とうもろこし」に変更する。
- ⑬作物名「ぶどう」の「使用時期」、「本剤の使用回数」及び「アセフェートを含む農薬の総使用回数」をそれぞれ「収穫30日前まで」から「収穫60日前まで」、「2回以内」から「1回」及び「2回以内」から「1回」に変更する。
- ⑭作物名「かき」の「適用病害虫名」の「カキクダアザミウマ、チャノキイロアザミウマ、カキノヘタムシガ」の「希釈倍数」を「1000~1500倍」から「1500倍」に変更し、「適用病害虫名」の「フジコナカイガラムシ」の「希釈倍数」を「1000倍」から「1500倍」に変更し、「適用病害虫名」の「カキノヒメヨコバイ」を削除する。
- ⑮作物名「かんきつ」を削除する。
- ⑯作物名「茶」の「使用時期」、「本剤の使用回数」及び「アセフェートを含む農薬の総使用回数」それぞれ「摘採30日前まで」から「摘採45日前まで」、「2回以内」から「1回」及び「2回以内」から「1回」に変更する。
- ⑰作物名「オクラ」の「使用時期」を「収穫7日前まで」から「収穫開始7日前まで」に変更する。

2) アセフェート水和剤（家庭園芸用）

- ①作物名「なす」を削除する。
- ②作物名「キャベツ」の「使用時期」、「本剤の使用回数」及び「アセフェートを含む農薬の総使用回数」をそれぞれ「収穫7日前まで」から「収穫30日前まで」、「3回以内」から「1回」及び「3回以内」から「2回以内（定植時までの処理は1回以内、定植後の散布は1回以内）」に変更する。
- ③作物名「はくさい」の「希釈倍数」、「使用時期」、「本剤の使用回数」及び「アセフェートを含む農薬の総使用回数」をそれぞれ「1000~1500倍又は1000~2000倍」を「1500倍又は1500倍~2000倍」、「収穫14日前まで」から「収穫30日前まで」、「3回以内」から「1回」及び「3回以内」から「1回」に変更する。
- ④作物名「レタス」の「使用時期」を「収穫14日前まで」から「収穫30日前まで」に変更する。
- ⑤作物名「ブロッコリー」を削除する。
- ⑥作物名「だいこん」を削除する。
- ⑦作物名「はつかだいこん」を削除する。
- ⑧作物名「ばれいしょ」の「使用時期」、「本剤の使用回数」及び「アセフェートを含む農薬の総使用回数」をそれぞれ「収穫7日前まで」から「収穫30日前まで」、「4回以内」から「2回以内」及び「5回以内（植付時の処理は1回以内、植付後は4回以内）」から「3回以内（植付時の処理は1回以内、植付後は2回以内）」に変更する。
- ⑨作物名「トマト」及び「ミニトマト」を削除する。

- ⑩作物名「とうもろこし」を「未成熟とうもろこし」に変更する。
- ⑪作物名「ぶどう」の「使用時期」、「本剤の使用回数」及び「アセフェートを含む農薬の総使用回数」をそれぞれ「収穫 30 日前まで」から「収穫 60 日前まで」、「2 回以内」から「1 回」及び「2 回以内」から「1 回」に変更する。
- ⑫作物名「かき」の「適用病害虫名」の「カキクダアザミウマ、チャノキイロアザミウマ、カキノヘタムシガ」の「希釈倍数」を「1000~1500 倍」から「1500 倍」に変更し、「適用病害虫名」の「カキノヒメヨコバイ」を削除する。
- ⑬作物名「かんきつ」を削除する。
- ⑭作物名「オクラ」の「使用時期」を「収穫 7 日前まで」から「収穫開始 7 日前まで」に変更する。

3) アセフェート粒剤

- ①作物名「キャベツ」の「使用時期」、「本剤の使用回数」、「使用方法」及び「アセフェートを含む農薬の総使用回数」をそれぞれ「定植時及び収穫 21 日前まで」から「定植時」、「3 回以内」から「1 回」、「定植時植穴散布及び生育期葉面散布」から「植穴処理」及び「3 回以内」から「2 回以内（定植時までの処理は 1 回以内、定植後の散布は 1 回以内）」に変更する。
- ②作物名「トマト」の「使用時期」、「本剤の使用回数」、「使用方法」及び「アセフェートを含む農薬の総使用回数」をそれぞれ「定植時及び収穫前日まで」から「定植時」、「3 回以内」から「1 回」、「定植時作条散布又は植穴散布、生育期株元散布」から「作条散布又は植穴処理」及び「3 回以内」から「1 回」に変更する。
- ③作物名「ミニトマト」を削除する。
- ④作物名「きゅうり、なす」の「使用時期」、「本剤の使用回数」、「使用方法」及び「アセフェートを含む農薬の総使用回数」をそれぞれ「定植時及び収穫前日まで」から「定植時」、「3 回以内」から「1 回」、「定植時作条散布又は植穴散布、生育期株元散布」から「作条散布又は植穴処理」及び「3 回以内」から「1 回」に変更する。
- ⑤作物名「ピーマン」の「使用時期」、「本剤の使用回数」、「使用方法」及び「アセフェートを含む農薬の総使用回数」をそれぞれ「定植時及び収穫前日まで」から「定植時」、「3 回以内」から「1 回」、「定植時作条散布又は植穴散布、生育期株元散布」から「株元散布」及び「3 回以内」から「1 回」に変更する。
- ⑥作物名「はくさい」の「使用時期」、「本剤の使用回数」、「使用方法」及び「アセフェートを含む農薬の総使用回数」をそれぞれ「定植時及び収穫 21 日前まで」から「定植時」、「3 回以内」から「1 回」、「植穴散布及び生育期株元散布」から「植穴処理」及び「3 回以内」から「1 回」に変更する。
- ⑦作物名「ブロッコリー」の「使用時期」、「本剤の使用回数」及び「アセフェートを含む農薬の総使用回数」をそれぞれ「定植時及び収穫 14 日前まで」から「定植時」、「3 回以内」から「1 回」及び「3 回以内」から「1 回」に変更する。
- ⑧作物名「だいこん」の「使用方法」及び「アセフェートを含む農薬の総使用回数」をそれぞれ「は種前作条散布」から「作条散布」及び「2 回以内（は種前及びは種時の処理は合計 1 回以内）」から「1 回」に変更する。
- ⑨作物名「はつかだいこん」を削除する。
- ⑩作物名「かぶ」の「使用時期」を「収穫 14 日前まで」から「収穫 21 日前まで」に変更する。
- ⑪作物名「ばれいしょ」の「アセフェートを含む農薬の総使用回数」を「5 回以内（植付時の処理

は1回以内、植付後は4回以内)」から「3回以内（植付時の処理は1回以内、植付後は2回以内）」に変更する。

4) アセフェート粒剤（家庭園芸用）

- ①作物名「キャベツ」の「使用時期」、「本剤の使用回数」、「使用方法」及び「アセフェートを含む農薬の総使用回数」をそれぞれ「定植時及び収穫21日前までの生育期」から「定植時」、「3回以内」から「1回」、「定植時植穴散布及び生育期葉面散布」から「植穴処理」及び「3回以内」から「2回以内（定植時までの処理は1回以内、定植後の散布は1回以内）」に変更する。
- ②作物名「はくさい」の「使用時期」、「本剤の使用回数」、「使用方法」及び「アセフェートを含む農薬の総使用回数」をそれぞれ「定植時及び収穫21日前までの生育期」から「定植時」、「3回以内」から「1回」、「植穴散布及び生育期株元散布」から「植穴処理」及び「3回以内」から「1回」に変更する。
- ③作物名「トマト」の「使用時期」、「本剤の使用回数」、「使用方法」及び「アセフェートを含む農薬の総使用回数」をそれぞれ「定植時及び収穫前日までの生育期」から「定植時」、「3回以内」から「1回」、「定植時植溝又は植穴散布、生育期株元散布」から「植溝散布又は植穴処理」及び「3回以内」から「1回」に変更する。
- ④作物名「ミニトマト」を削除する。
- ⑤作物名「きゅうり、なす」の「使用時期」、「本剤の使用回数」、「使用方法」及び「アセフェートを含む農薬の総使用回数」をそれぞれ「定植時及び収穫前日までの生育期」から「定植時」、「3回以内」から「1回」、「定植時植溝又は植穴散布、生育期株元散布」から「植溝散布又は植穴処理」及び「3回以内」から「1回」に変更する。
- ⑥作物名「ピーマン」の「使用時期」、「本剤の使用回数」、「使用方法」及び「アセフェートを含む農薬の総使用回数」をそれぞれ「定植時及び収穫前日までの生育期」から「定植時」、「3回以内」から「1回」、「定植時植溝又は植穴散布、生育期株元散布」から「株元散布」及び「3回以内」から「1回」に変更する。
- ⑦作物名「ブロッコリー」の「使用時期」、「本剤の使用回数」及び「アセフェートを含む農薬の総使用回数」をそれぞれ「定植時及び収穫14日前までの生育期」から「定植時」、「3回以内」から「1回」及び「3回以内」から「1回」に変更する。
- ⑧作物名「だいこん」の「使用方法」及び「アセフェートを含む農薬の総使用回数」をそれぞれ「は種前植溝散布」から「植溝散布」及び「2回以内（は種前及びは種時の処理は合計1回以内）」から「1回」に変更する。
- ⑨作物名「はつかだいこん」を削除する。
- ⑩作物名「かぶ」の「使用時期」を「収穫14日前まで」から「収穫21日前まで」に変更する。
- ⑪作物名「ばれいしょ」の「アセフェートを含む農薬の総使用回数」を「5回以内（植付時の処理は1回以内、植付後は4回以内）」から「3回以内（植付時の処理は1回以内、植付後は2回以内）」に変更する。

5) アセフェート・クロチアニジン粒剤

作物名「トマト、なす、きゅうり」の「アセフェートを含む農薬の総使用回数」を「3回以内」から「1回」に変更する。

【適用表（今回の使用制限変更にかかると部分のみ）】

1) アセフェート水和剤

[変更前]

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	アセフェートを含む農薬の総使用回数
なす	アブラムシ類、アザミウマ類	1000～2000倍	収穫7日前まで	3回以内	散布	3回以内
	ハスモンヨトウ、オオタバコガ	1000倍				
キャベツ	ヨトウムシ、ハスモンヨトウ タナギンウリハ	1000～1500倍	収穫14日前まで			
	アオムシ、コナガ、アブラムシ類	1000～2000倍				
はくさい	カブラハバチ、ヨトウムシ ハスモンヨトウ	1000～1500倍	収穫14日前まで			
	アオムシ、コナガ、アブラムシ類	1000～2000倍				
レタス	ヨトウムシ	1000～1500倍	収穫14日前まで			
	オオタバコガ	1000倍				
ブロッコリー	ヨトウムシ		収穫14日前まで			
だいこん	ヨトウムシ、カブラハバチ ダレコシクイムシ	1500倍				
	アオムシ、コナガ、アブラムシ類	1500～2000倍				
はつかだいこん	ヨトウムシ、カブラハバチ ダレコシクイムシ	1500倍	2回以内	2回以内		
	アオムシ、コナガ、アブラムシ類	1500～2000倍				
非結球 あぶらな科葉菜類 (ケール、からしな、みずな、ルッコラを除く)	アブラムシ類	1500倍	収穫21日前まで	1回	散布	1回
かぶ	アブラムシ類、アオムシ、コナガ					
オクラ	アブラムシ類、ミドリコバエ					
ばれいしょ	テントウムシダマシ幼虫 ヨトウムシ	1000倍	収穫7日前まで	4回以内	4回以内	
	アブラムシ類	300倍				
	アブラムシ類、シヤガイモガ	1000～1500倍				
トマト	アブラムシ類	1000～2000倍	収穫前日まで	3回以内	3回以内	
	マハモグリハエ	1000倍				
ミニトマト	アブラムシ類	1500倍	収穫14日前まで	1回	2回以内 (定植時の処理は1回以内、定植後は1回以内)	
とうもろこし		1000倍	収穫7日前まで	2回以内	2回以内	
ぶどう	チャノキイロアザミウマ フタデヒメコバエ	1500～2000倍	収穫30日前まで			
	ハマキムシ類	1500倍				
かき	カキタアザミウマ チャノキイロアザミウマ カキノハタムシガ	1000～1500倍	収穫45日前まで			
	カキノヒメコバエ フジコナカイガラムシ	1000倍				

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	アフェートを含む農薬の総使用回数
かんきつ	コクモンハマキ、シャクトリムシ類 ヤノネイカラムシ第1世代 ツノロウムシ、ルビローウムシ ミカンキイロアサミウマ ネギアサミウマ コホウノミドリヒメヨコバイ	1000倍	収穫30日前まで	3回以内	散布	3回以内
	アブラムシ類、ケシキスイ類 コアオハナムグリ、アサミウマ類	1000～1500倍				
	ミカントゲコナジラミ	1500～2000倍				
茶	チャノキイロアサミウマ チャノミドリヒメヨコバイ	1000～2000倍	摘採30日前まで	2回以内		2回以内
	チャノコクモンハマキ	1000～1500倍				

[変更後]

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	アフェートを含む農薬の総使用回数		
キャベツ	ヨトウムシ、ハスモンヨトウ タマキソウワバ	1000～1500倍	100～300 L/10a	収穫30日前まで	1回	散布	2回以内 (定植時までの処理は1回以内、定植後の散布は1回以内)		
	アオムシ、コナガ、アブラムシ類	1000～2000倍							
はくさい	カブラハバチ、ヨトウムシ ハスモンヨトウ	1500倍							
	アオムシ、コナガ、アブラムシ類	1500～2000倍							
レタス	ヨトウムシ	1000～1500倍							
	オオタバコガ	1000倍							
非結球 あぶらな科葉 (ケール、からしな、みずな、ルッコラ、たかなを除く)	アブラムシ類	1500倍							
オクラ	アブラムシ類、ミドリヨコバイ	1000倍			25L/10a		収穫開始 7日前まで	2回以内	3回以内 (植付時の処理は1回以内、植付後は2回以内)
ばれいしょ	テントウムシダマシ幼虫 ヨトウムシ						300倍		
	アブラムシ類、ジャガイモガ	1000～1500倍			100～300 L/10a		収穫7日前まで	2回以内	2回以内
未成熟 とうもろこし	アブラムシ類	1000倍	100～300 L/10a	収穫60日前まで	1回	1回			
ぶどう	チャノキイロアサミウマ フタテンヒメヨコバイ	1500～2000倍	200～700 L/10a	収穫45日前まで	2回以内	2回以内			
	ハマキムシ類	1500倍							
かき	カキタアサミウマ チャノキイロアサミウマ カキノタムシガ フジコナカイカラムシ	1500倍	200～400 L/10a	摘採45日前まで	1回	1回			
	チャノキイロアサミウマ チャノミドリヒメヨコバイ	1000～2000倍							
茶	チャノコクモンハマキ	1000～1500倍							

2) アセフェート水和剤 (家庭園芸用)

【変更前】

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	アセフェートを含む農薬の総使用回数	
なす	アブラムシ類、アザミウマ類	1000～2000倍	収穫7日前まで	3回以内	散布	3回以内	
	ハスモンヨトウ、オオタバコガ	1000倍					
キャベツ	ヨトウムシ、ハスモンヨトウ タマキシノウワバ	1000～1500倍	収穫14日前まで	2回以内			2回以内 (は種前及びは種時の処理は合計1回以内)
	アオムシ、コガ、アブラムシ類	1000～2000倍					2回以内 (は種前の処理は1回以内)
はくさい	カブラハチ、ヨトウムシ ハスモンヨトウ	1000～1500倍	収穫7日前まで	4回以内			5回以内 (植付時の処理は1回以内、植付後は4回以内)
	アオムシ、コガ、アブラムシ類	1000～2000倍					3回以内
レタス	ヨトウムシ	1000～1500倍	収穫前日まで	3回以内		3回以内	
ブロッコリー	オオタバコガ	1000倍					
だいこん	ヨトウムシ、カブラハチ ダイコンシクイムシ	1500倍	収穫14日前まで	1回		2回以内 (定植時の処理は1回以内、定植後は1回以内)	
	アオムシ、コガ、アブラムシ類	1500～2000倍				1回	
はつかだいこん	ヨトウムシ、カブラハチ ダイコンシクイムシ	1500倍	収穫7日前まで	2回以内		2回以内	
	アオムシ、コガ、アブラムシ類	1500～2000倍				2回以内	
ばれいしょ	ヨトウムシ テントウムシダマシ幼虫	1000倍	収穫7日前まで	4回以内		2回以内	
	アブラムシ類、シヤガイモガ	1000～1500倍					
トマト	アブラムシ類	1000～2000倍	収穫前日まで	3回以内		2回以内	
	マハモクグリハエ	1000倍					
ミニトマト	アブラムシ類	1500倍	収穫14日前まで	1回		2回以内 (定植時の処理は1回以内、定植後は1回以内)	
オクラ	アブラムシ類、トリヨコバイ	1000倍	収穫7日前まで	2回以内		1回	
とうもろこし	アブラムシ類						
ぶどう	チャノキアザミウマ フタテンヒメヨコバイ	1500～2000倍	収穫30日前まで	2回以内		2回以内	
かき	カキタアザミウマ チャノキアザミウマ カキノハタムシガ	1000～1500倍	収穫45日前まで				
	カキノヒメヨコバイ						
かんきつ	コカモンハマキ、シヤクトリムシ類 ヤノハシラミ第1世代 ツノロウムシ、ルビロウムシ シカンキアザミウマ ネギアザミウマ ゴボウノミドリヒメヨコバイ	1000倍	収穫30日前まで	3回以内	3回以内		
	アブラムシ類、ケシキスイ類 コアオナムグリ、アザミウマ類	1000～1500倍					
	シカントケコナジラミ	1500～2000倍					

【変更後】

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	散布液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	アセフェートを含む農薬の総使用回数			
キャベツ	ヨトウムシ、ハスモンヨトウ タマキシノウバ	1000～1500 倍	100～300 mL/m ²	収穫 30 日 前まで	1 回	散布	2 回以内 (定植時までの処理は 1 回以内、定植後の散布は 1 回以内)			
	アオムシ、コカ、アブラムシ類	1000～2000 倍						1 回		
はくさい	カブラハバチ、ヨトウムシ ハスモンヨトウ	1500 倍					1500～2000 倍	3 回以内	3 回以内	
	アオムシ、コカ、アブラムシ類	1000～1500 倍								
レタス	ヨトウムシ	1000 倍					1500～2000 倍	2 回以内	2 回以内	3 回以内 (植付時の処理は 1 回以内、植付後は 2 回以内)
	オオタバコガ	1000 倍								
ばれいしよ	テントウムシダマシ幼虫 ヨトウムシ	1000 倍		1000～1500 倍	1 回		2 回以内	1 回		
	アブラムシ類、ジャコイモガ	1000 倍								
オクラ	アブラムシ類、ミドリヨコバイ	1000 倍		1000 倍	2 回以内		2 回以内	2 回以内		
未成熟 とうもろこし	アブラムシ類									
ぶどう	チャノキアザミウマ フタテヒメヨコバイ	1500～2000 倍	200～700 mL/m ²	収穫 60 日 前まで	1 回	1 回				
かき	カキクダアザミウマ チャノキアザミウマ カキノタムシガ	1500 倍					収穫 45 日 前まで	2 回以内	2 回以内	

3) アセフェート粒剤
[変更前]

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	アセフェートを含む農薬の総使用回数
キャベツ	アオムシ、コナガ ヨウムシ アブラムシ類	3～6kg/10a (1～2g/株)	定植時及び 収穫 21 日前まで	3 回以内	定植時植穴散布 及び生育期葉面 散布	3 回以内
	アブラムシ類	6g/m ²	育苗期	1 回	散布	
トマト	アブラムシ類 オンシツコナジラミ	3～6kg/10a (1～2g/株)	定植時及び 収穫前日まで	3 回以内	定植時作条散布 又は植穴散布、 生育期株元散布	2 回以内 (定植時の 処理は 1 回 以内、定植 後は 1 回以 内)
ミニトマト			定植時	1 回	定植時作条散布 又は植穴散布	
きゅうり なす			アブラムシ類 アザミウマ類 オンシツコナジラミ	定植時及び 収穫前日まで	3 回以内	
ピーマン	アブラムシ類	2g/株				
はくさい	アオムシ、コナガ ヨウムシ アブラムシ類	3～6kg/10a (1～2g/株)	定植時及び 収穫 21 日前まで	3 回以内	植穴散布及び 生育期株元散布	3 回以内
ブロッコリー	ヨウムシ	6kg/10a (2g/株)	定植時及び収穫 14 日前まで			
だいこん	アオムシ、コナガ アブラムシ類	3～4kg/10a	は種前	1 回	は種前 作条散布	2 回以内 (は種前及 びは種時の 処理は合計 1 回以内)
はつかだいこん						2 回以内 (は種前の 処理は 1 回 以内)
かぶ	アブラムシ類	4kg/10a	収穫 14 日前まで	1 回	株元散布	1 回
ばれいしょ		3～6kg/10a (1～2g/株)	植付時			作条散布

[変更後]

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	アゼートを含む農薬の総使用回数
キャベツ	アオムシ、コナガヨトウムシ アブラムシ類	3～6kg/10a (1～2g/株)	定植時	1回	植穴処理	2回以内 (定植時までの処理は1回以内、定植後の散布は1回以内)
	アブラムシ類	6g/m ²	育苗期		散布	
トマト	アブラムシ類 オンシツコナジラミ	3～6kg/10a (1～2g/株)	定植時		作条散布 又は植穴処理	1回
きゅうり なす	アブラムシ類 アザミウマ類 オンシツコナジラミ					
ピーマン	アブラムシ類	2g/株			株元散布	
はくさい	アオムシ、コナガヨトウムシ アブラムシ類	3～6kg/10a (1～2g/株)			植穴処理	
ブロッコリー	ヨトウムシ	6kg/10a (2g/株)			株元散布	
だいこん	アオムシ、コナガアブラムシ類	3～4kg/10a	は種前		作条散布	
かぶ	アブラムシ類	4kg/10a	収穫 21 日 前まで		株元散布	
ばれいしょ		3～6kg/10a (1～2g/株)	植付時		作条散布	

4) アセフェート粒剤 (家庭園芸用)

【変更前】

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	アセフェートを含む農薬の総使用回数
キャベツ	アオムシ、コナガヨトウムシ アブラムシ類	3~6g/m ² (1株当たり1~2g)	定植時及び収穫21日前までの生育期	3回以内	定植時植穴散布及び生育期葉面散布	3回以内
	アブラムシ類	6g/m ²	育苗期	1回	散布	
はくさい	アオムシ、コナガヨトウムシ アブラムシ類	3~6g/m ² (1株当たり1~2g)	定植時及び収穫21日前までの生育期	3回以内	植穴散布及び生育期株元散布	3回以内
トマト	アブラムシ類 オンシツコナジラミ		定植時及び収穫前日までの生育期		定植時植溝又は植穴散布、生育期株元散布	
ミニトマト			定植時	1回	定植時植溝又は植穴散布	2回以内 (定植時の処理は1回以内、定植後は1回以内)
きゅうり なす	アブラムシ類 アザミヤカ類 オンシツコナジラミ	1株当たり2g	定植時及び収穫前日までの生育期	3回以内	定植時植溝又は植穴散布、生育期株元散布	3回以内
ピーマン	アブラムシ類					
ブロッコリー	ヨトウムシ		6g/m ² (1株当たり2g)		定植時及び収穫14日前までの生育期	
だいこん	アオムシ、コナガアブラムシ類	3~4g/m ²	は種前	1回	は種前植溝散布	2回以内 (は種前及びは種時の処理は合計1回以内)
はつかだいこん						2回以内 (は種前の処理は1回以内)
かぶ	アブラムシ類	4g/m ²	収穫14日前まで	1回	株元散布	1回
ばれいしょ		3~6g/m ² (1株当たり1~2g)	植付時		植溝散布	5回以内 (植付時の処理は1回以内、植付後は4回以内)

【変更後】

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	アフェートを含む農薬の総使用回数
キャベツ	アオムシ、コナガ ヨトウムシ アブラムシ類	3～6g/m ² (1株当たり 1～2g)	定植時	1回	植穴処理	2回以内 (定植時までの処理は1回以内、定植後の散布は1回以内)
	アブラムシ類	6g/m ²	育苗期		散布	
はくさい	アオムシ、コナガ ヨトウムシ アブラムシ類	3～6g/m ² (1株当たり 1～2g)	定植時		植穴処理	1回
トマト	アブラムシ類 オンシツコナジラミ	3～6g/m ² (1株当たり 1～2g)			植溝散布又は 植穴処理	
きゅうり なす	アブラムシ類 アザミウマ類 オンシツコナジラミ				株元散布	
ピーマン	アブラムシ類	1株当たり 2g			植溝散布	
ブロッコリー	ヨトウムシ	6g/m ² (1株当たり 2g)			株元散布	
だいこん	アオムシ、コナガ アブラムシ類	3～4g/m ²			は種前	
かぶ	アブラムシ類	4g/m ²	収穫 21 日前まで			
ばれいしょ	アブラムシ類	3～6g/m ² (1株当たり 1～2g)	植付時		植溝散布	3回以内 (植付時の処理は1回以内、植付後は2回以内)

5) アセフェート・クロチアニジン粒剤

【変更前】

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	アセフェートを含む農薬の総使用回数	クロチアニジンを含む農薬の総使用回数
トマト	アブラムシ類	1g/株	定植時	1回	植穴処理 土壌混和	3回以内	4回以内 (育苗期の株元処理及び定植時の土壌混和は合計1回以内、散布及び定植後の株元散布は合計3回以内)
なす		2g/株					
きゅうり	コナジラミ類						

【変更後】

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	アセフェートを含む農薬の総使用回数	クロチアニジンを含む農薬の総使用回数
トマト	アブラムシ類	1g/株	定植時	1回	植穴処理 土壌混和	1回	4回以内 (育苗期の株元処理及び定植時の土壌混和は合計1回以内、散布及び定植後の株元散布は合計3回以内)
なす		2g/株					
きゅうり	コナジラミ類						

【変更理由】

今後行われる食品安全委員会で設定が想定されるアセフェートのARfDを基に検討した結果、複数の適用作物で想定ARfDを超過することが予想され、超過しない使用方法へ変更する必要があると判断したため。

2.

登録番号	農薬名（商品名）	農薬の種類名	製造者名
第 20939 号	ジェイエース粒剤	アセフェート粒剤	全国農業協同組合連合会
第 21904 号	スミフェート粒剤	アセフェート粒剤	住友化学株式会社
第 20967 号	ジェイエース水溶剤	アセフェート水溶剤	全国農業協同組合連合会
第 21903 号	スミフェート水溶剤	アセフェート水溶剤	住友化学株式会社

■変更内容及び変更理由

1) アセフェート粒剤

【変更内容（今回の使用制限変更にかかる部分のみ）】

- ① 作物名「キャベツ」の「適用病害虫名」、「使用時期」、「本剤の使用回数」、「使用方法」及び「アセフェートを含む農薬の総使用回数」をそれぞれ「ハイマダラノメイガ」を削除し、「定植時及び生育期 但し、収穫 21 日前まで」から「定植時」に、「3 回以内」から「1 回」に、「定植時植穴処理及び生育期葉面散布」から「植穴処理」に、及び「3 回以内」から「2 回以内（定植時までの処理は 1 回以内、定植後は 1 回以内）」に変更する。
- ② 作物名「はくさい」の「使用時期」、「本剤の使用回数」、「使用方法」及び「アセフェートを含む農薬の総使用回数」をそれぞれ「定植時及び生育期 但し、収穫 21 日前まで」から「定植時」に、「3 回以内」から「1 回」に、「定植時植穴処理及び生育期株元散布」から「植穴処理」に、及び「3 回以内」から「1 回」に変更する。
- ③ 作物名「ブロッコリー」の「使用時期」、「本剤の使用回数」、「使用方法」及び「アセフェート含む農薬の総使用回数」をそれぞれ「定植時及び生育期 但し、収穫 14 日前まで」から「定植時」に、「3 回以内」から「1 回」に、「定植時植穴処理及び生育期株元散布」から「株元散布」に、及び「3 回以内」から「1 回」に変更する。
- ④ 作物名「だいこん」の「使用方法」及び「アセフェートを含む農薬の総使用回数」をそれぞれ「は種前作条散布」から「作条散布」に、及び「2 回以内（は種前及びは種時の処理は合計 1 回以内）」から「1 回」に変更する。
- ⑤ 作物名「かぶ」の「使用時期」及び「使用方法」をそれぞれ「収穫 14 日前まで」から「収穫 21 日前まで」に、及び「生育期葉面散布」から「株元散布」に変更する。
- ⑥ 作物名「なばな」の「使用方法」を「定植時土壌混和处理」から「土壌混和处理」に変更する。
- ⑦ 作物名「きゅうり、トマト、なす」の「使用時期」、「本剤の使用回数」、「使用方法」及び「アセフェートを含む農薬の総使用回数」をそれぞれ「定植時及び生育期 但し、収穫前日まで」から「定植時」に、「3 回以内」から「1 回」に、「定植時作条散布又は

植穴散布、生育期株元散布」から「作条散布又は植穴処理」に、及び「3回以内」から「1回」に変更する。

- ⑧ 作物名「ミニトマト」を削除する。
- ⑨ 作物名「みずな」の「使用方法」及び「アセフェートを含む農薬の総使用回数」をそれぞれ「定植時作条散布後土壌混和」から「作条散布後土壌混和」に、及び「2回以内（定植時は1回以内）」から「1回」に変更する。
- ⑩ 作物名「ばれいしょ」の「アセフェートを含む農薬の総使用回数」を「5回以内（植付時の処理は1回以内、植付後は4回以内）」から「3回以内（植付時の処理は1回以内、植付後は2回以内）」に変更する。
- ⑪ 作物名「こまつな」の「使用方法」を「は種前作条散布後土壌混和」から「作条散布後土壌混和」に変更する。
- ⑫ 作物名「チンゲンサイ」の「使用方法」を「定植時作条散布後土壌混和」から「作条散布後土壌混和」に変更する。

【適用表（今回の使用制限変更にかかる部分のみ）】

[変更前]

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	アセフトを含む農薬の総使用回数
キャベツ	アオムシ コガ ヨトウムシ アブラムシ類	3～6kg/10a (1株当たり 1～2g)	定植時及び生育期 但し、 収穫 21 日前まで	3 回以内	定植時植穴処理 及び 生育期葉面散布	3 回以内
	ハマダラメカイ		収穫 21 日前まで		生育期葉面散布	
はくさい	アオムシ コガ ヨトウムシ アブラムシ類	定植時及び生育期 但し、 収穫 21 日前まで	定植時植穴処理 及び 生育期株元散布			
ブロッコリー	ヨトウムシ	6kg/10a (1株当たり 2g)	定植時及び生育期 但し、 収穫 14 日前まで			
だいこん	アオムシ コガ アブラムシ類	3～4kg/10a	は種前	1 回	は種前作条散布	2 回以内 (は種前及びは 種時の処理は 合計 1 回以内)
かぶ	アブラムシ類	4kg/10a	収穫 14 日前まで		生育期葉面散布	1 回
なばな		6kg/10a (1株当たり 2g)	定植時		定植時土壌混和 処理	
きゅうり	ホシツコナジラミ アザミヤカ類 アブラムシ類	3～6kg/10a (1株当たり 1～2g)	定植時及び生育期 但し、 収穫前日まで	3 回以内	定植時作条散布 又は植穴散布、 生育期株元散布	3 回以内
トマト						
ミニトマト	アブラムシ類 ホシツコナジラミ		定植時	1 回	定植時作条散布 又は 植穴散布	2 回以内 (定植時の処理は 1 回以内、定植後 は 1 回以内)
なす	アブラムシ類 ホシツコナジラミ アザミヤカ類		定植時及び生育期 但し、 収穫前日まで	3 回以内	定植時作条散布 又は植穴散布、 生育期株元散布	3 回以内
みずな	アブラムシ類	6kg/10a	定植時	1回	定植時作条散布 後土壌混和	2回以内（定植時 は 1回以内
ばれいしょ		3～6kg/10a	植付時		作条散布	5回以内 (植付時の処理は1 回以内、植付後は 4回以内)
こまつな			は種前	は種前作条 散布後土壌混和	1回	
チンゲンサイ			定植時	定植時作条 散布後土壌混和		

[変更後]

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	アセフェートを含む農薬の総使用回数
キャベツ	アオムシ コナガ ヨトウムシ アブラムシ類	3~6kg/10a (1株当たり 1~2g)	定植時	1回	植穴処理	2回以内 (定植時までの処理は1回以内、定植後は1回以内)
はくさい						
ブロッコリー	ヨトウムシ	6kg/10a (1株当たり 2g)			株元散布	
だいこん	アオムシ コナガ アブラムシ類	3~4kg/10a	は種前		作条散布	
かぶ		4kg/10a	収穫 21 日前まで		株元散布	
なばな	アブラムシ類	6kg/10a (1株当たり 2g)	定植時		土壌混和处理	1回
きゅうり	オンシツコナジラミ アブラムシ類 アザミウマ類	3~6kg/10a (1株当たり 1~2g)	定植時		作条散布 又は植穴処理	
トマト	アブラムシ類 オンシツコナジラミ					
なす	アブラムシ類 オンシツコナジラミ アザミウマ類					
みずな		6kg/10a	定植時		作条散布後 土壌混和	1回
ばれいしょ	アブラムシ類	3~6kg/10a	植付時		作条散布	3回以内 (植付時の処理は1回以内、植付後は2回以内)
こまつな			は種前		作条散布後 土壌混和	1回
チンゲンサイ			定植時			

【変更理由】

わが国において、原則としてすべての農薬について急性暴露評価を行うことになり、今後設定が予想されるアセフェート剤の急性参照用量（ARfD）を基に検討した結果、複数の適用作物で変更する必要があると判断したため。

2) アセフェート水溶剤

【変更内容（今回の使用制限変更にかかる部分のみ）】

- ① 作物名「かんきつ」を削除する。
- ② 作物名「かき」の「希釈倍数」を「1000～1500倍」から「1500倍」に変更する。
- ③ 作物名「ぶどう」の「使用時期」、「本剤の使用回数」及び「アセフェートを含む農薬の総使用回数」をそれぞれ「収穫30日前まで」から「収穫60日前まで」に、「2回以内」から「1回」に、及び「2回以内」から「1回」に変更する。
- ④ 作物名「キャベツ」の「使用時期」、「本剤の使用回数」及び「アセフェートを含む農薬の総使用回数」をそれぞれ「収穫7日前まで」から「収穫30日前まで」に、「3回以内」から「1回」に、及び「3回以内」から「2回以内（定植時までの処理は1回以内、定植後は1回以内）」に変更する。
- ⑤ 作物名「はくさい」の「希釈倍数」、「使用時期」、「本剤の使用回数」及び「アセフェートを含む農薬の総使用回数」をそれぞれ「1000～1500倍」から「1500倍」に、「収穫14日前まで」から「収穫30日前まで」に、「3回以内」から「1回」に、及び「3回以内」から「1回」に変更する。
- ⑥ 作物名「レタス」の「使用時期」を「収穫14日前まで」から「収穫30日前まで」に変更する。
- ⑦ 作物名「ブロッコリー」を削除する。
- ⑧ 作物名「だいこん」を削除する。
- ⑨ 作物名「かぶ」を削除する。
- ⑩ 作物名「チンゲンサイ」の「希釈倍数」を「1000倍」から「1500倍」に変更する。
- ⑪ 作物名「みずな」の「希釈倍数」、「使用時期」、「本剤の使用回数」及び「アセフェートを含む農薬の総使用回数」をそれぞれ「1000倍」から「1500倍」に、「収穫14日前まで」から「収穫21日前まで」に、「2回以内」から「1回」及び「2回以内（定植時は1回以内）」から「1回」に変更する。
- ⑫ 作物名「トマト」、「ミニトマト」及び「なす」を削除する。
- ⑬ 作物名「オクラ」の「使用時期」を「収穫3日前まで」から「収穫開始7日前まで」に変更する。
- ⑭ 作物名「ばれいしょ」の「使用時期」、「本剤の使用回数」及び「アセフェートを含む農薬の総使用回数」をそれぞれ「収穫7日前まで」から「収穫30日前まで」に、「4回以内」から「2回以内」に、及び「5回以内（植付時の処理は1回以内、植付後は4回以内）」から「3回以内（植付時の処理は1回以内、植付後は2回以内）」に変更する。
- ⑮ 作物名「茶」の「使用時期」、「本剤の使用回数」及び「アセフェートを含む農薬の総使用回数」それぞれ「摘採30日前まで」から「摘採45日前まで」に、「2回以内」から「1回」に、及び「2回以内」から「1回」に変更する。

【適用表（今回の使用制限変更にかかる部分のみ）】

[変更前]

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	アセフトを含む農薬の総使用回数
かんきつ	ヤノネカイガラムシ ツノロウムシ ルビーロウムシ ミカンキイロアザミウマ アザミウマ類	1000 倍	200～700 L/10a	収穫 30 日前 まで	3 回以内	散布	3 回以内
	コアオハナムグリ チャノキイロアザミウマ アブラムシ類 ケシキスイ類	1000～ 1500 倍					
	ミカントゲコナジラミ	1500 倍					
かき	カキクダアザミウマ チャノキイロアザミウマ カキノヘタムシガ	1000～ 1500 倍	100～300 L/10a	収穫 45 日前 まで	2 回以内		2 回以内
ぶどう	チャノキイロアザミウマ フタテンヒメヨコバイ	1500～ 2000 倍		収穫 30 日前 まで			
キャベツ	ハスモンヨトウ アオムシ コナガ ヨトウムシ アブラムシ類 タマナギンウワバ	1000～ 1500 倍	100～300 L/10a	収穫 7 日前 まで	3 回以内		3 回以内
	はくさい			ハスモンヨトウ アオムシ コナガ ヨトウムシ アブラムシ類			
レタス	ヨトウムシ ハスモンヨトウ オオタバコガ	1000 倍	100～300 L/10a	収穫 14 日前 まで	2 回以内		2 回以内 (は種前及び は種時の処理は 合計 1 回以内)
ブロッコリー	ヨトウムシ						
だいこん	アオムシ コナガ ヨトウムシ アブラムシ類	1500～ 2000 倍	100～300 L/10a	収穫 14 日前 まで	2 回以内	2 回以内 (は種前及び は種時の処理は 合計 1 回以内)	
		ハイマダラノメイガ					1500 倍
かぶ	アオムシ コナガ アブラムシ類	1500～ 2000 倍	100～300 L/10a	収穫 21 日前 まで	1 回	1 回	
チンゲンサイ	アブラムシ類	1000 倍		収穫 14 日前 まで	2 回以内	2 回以内 (定植時は 1 回以内)	
みずな			1000～ 2000 倍	収穫前日 まで	3 回以内	3 回以内	
トマト		マメハモグリバエ オオタバコガ	1000 倍				

(つづき)

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	アゼートを含む農薬の総使用回数	
ミニトマト	アブラムシ類	1000～2000倍	100～300 L/10a	収穫前日まで	1回	散布	2回以内 (定植時の処理は1回以内、定植後は1回以内)	
	マメハモグリバエ オオタバコガ	1000倍						
なす	アブラムシ類	1000～2000倍		収穫7日前まで	3回以内		3回以内	
	ミカンキイロアザミウマ ハスモンヨトウ オオタバコガ アザミウマ類	1000倍						
オクラ	アブラムシ類 フタテシジミ ヒメコバエ			1000倍	収穫3日前まで			1回
ばれいしょ	ヨトウムシ オホシジメ ヨウモリ	1000～2000倍 300倍			25L/10a			収穫7日前まで
	アブラムシ類							
茶	チャノキイロアザミウマ チャノトリヒメコバエ	1000～2000倍	200～400 L/10a	摘採30日前まで	2回以内	2回以内		
	チャノココクモンハマキ	1000～1500倍						

【変更後】

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	アセフトを含む農薬の総使用回数
かき	カキクダアザミウマ チャノキイロアザミウマ カキノヘタムシガ	1500倍	200～700 L/10a	収穫45日前 まで	2回以内	散布	2回以内
ぶどう	チャノキイロアザミウマ フタテンヒメヨコバイ	1500～ 2000倍		収穫60日前 まで			1回
キャベツ	ハスモンヨトウ アオムシ コナガ ヨトウムシ アブラムシ類 タマナギンウワバ	1000～ 1500倍	100～300 L/10a	収穫30日前 まで	1回		2回以内 (定植時までの 処理は1回以内、 定植後は1回以 内)
はくさい	ハスモンヨトウ アオムシ コナガ ヨトウムシ アブラムシ類	1500倍			1回		1回
レタス	ヨトウムシ ハスモンヨトウ オオタバコガ	1000～ 1500倍 1000倍			3回以内		3回以内
チンゲンサイ みずな	アブラムシ類	1500倍		収穫21日前 まで	1回		1回
オクラ	アブラムシ類 フタテンヒメヨコバイ	1000倍		収穫開始7日 前まで			
ばれいしょ	ヨトウムシ オオジョウワキホシテウ		1000～ 2000倍	収穫30日前 まで	2回以内		3回以内 (植付時の処理は 1回以内、植付後 は2回以内)
	アブラムシ類	300倍	25L/10a				
茶	チャノキイロアザミウマ チャノミドリヒメヨコバイ	1000～ 2000倍	200～400 L/10a	摘採45日前 まで	1回		1回
	チャノコカクモンハマキ	1000～ 1500倍					

【変更理由】

わが国において、原則としてすべての農薬について急性暴露評価を行うことになり、今後設定が予想されるアセフト剤の急性参照用量（ARfD）を基に検討した結果、複数の適用作物で変更する必要があると判断したため。

3.

登録番号	農薬名（商品名）	農薬の種類名	製造者名
第 20940 号	「興農」ジェネレート粒剤	アセフェート粒剤	興農股份有限公司
第 20968 号	「興農」ジェネレート水溶剤	アセフェート水溶剤	興農股份有限公司

■変更内容及び変更理由

1) アセフェート粒剤

【変更内容（今回の使用制限変更にかかる部分のみ）】

- ① 作物名「キャベツ」の「使用時期」、「本剤の使用回数」、「使用方法」及び「アセフェートを含む農薬の総使用回数」をそれぞれ「定植時及び生育期（収穫 21 日前まで）」から「定植時」に、「3 回以内」から「1 回」に、「定植時植穴処理及び生育期葉面散布」から「植穴処理」に、及び「3 回以内」から「2 回以内（定植時までの処理は 1 回以内、定植後の散布は 1 回以内）」に変更する。
- ② 作物名「はくさい」の「使用時期」、「本剤の使用回数」、「使用方法」及び「アセフェートを含む農薬の総使用回数」をそれぞれ「定植時及び生育期 但し、収穫 21 日前まで」から「定植時」に、「3 回以内」から「1 回」に、「定植時植穴処理及び生育期株元散布」から「植穴処理」に、及び「3 回以内」から「1 回」に変更する。
- ③ 作物名「だいこん」の「使用方法」及び「アセフェートを含む農薬の総使用回数」をそれぞれ「は種前作条散布」から「作条散布」に、及び「2 回以内（は種前及びは種時の処理は合計 1 回以内）」から「1 回」に変更する。
- ④ 作物名作物名「きゅうり、トマト、なす」の「使用時期」、「本剤の使用回数」、「使用方法」及び「アセフェートを含む農薬の総使用回数」をそれぞれ「定植時及び生育期（収穫前日まで）」から「定植時」に、「3 回以内」から「1 回」に、「定植時作条散布又は植穴散布、生育期株元散布」から「作条散布又は植穴処理」に、及び「3 回以内」から「1 回」に変更する。
- ⑤ 作物名「ミニトマト」を削除する。
- ⑥ 作物名「ばれいしょ」の「アセフェートを含む農薬の総使用回数」を「5 回以内（植付時の処理は 1 回以内、植付後は 4 回以内）」から「3 回以内（植付時の処理は 1 回以内、植付後は 2 回以内）」に変更する。

【適用表（今回の使用制限変更にかかる部分のみ）】

【変更前】

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	アセフトを含む農薬の総使用回数
キャベツ	アオムシ コガ ヨウムシ アブラムシ類	3～6kg/10a (1株当たり 1～2g)	定植時及び生育期 (収穫21日前まで)	3回以内	定植時植穴処理 及び 生育期葉面散布	3回以内
はくさい	アオムシ アブラムシ類	6kg/10a (1株当たり2g)			定植時植穴処理 及び 生育期株元散布	
	コガ ヨウムシ					
だいこん	アオムシ コガ アブラムシ類	3～4kg/10a	は種前	1回	は種前作条散布	2回以内 (は種前及び は種時の 処理は 合計1回以内)
きゅうり	オンシツコナジラミ アザミウマ類 アブラムシ類	3～6kg/10a (1株当たり 1～2g)	定植時及び生育期 (収穫前日まで)	3回以内	定植時作条散布 又は植穴散布、 生育期株元散布	3回以内
トマト	オンシツコナジラミ アブラムシ類	6kg/10a (1株当たり2g)				
ミニトマト	オンシツコナジラミ	3～6kg/10a (1株当たり 1～2g)	定植時	1回	定植時作条散布 又は 植穴散布	2回以内 (定植時の処理は 1回以内、定植後 は1回以内)
なす	アブラムシ類	6kg/10a (1株当たり2g)	定植時及び生育期 (収穫前日まで)	3回以内	定植時作条散布 又は植穴散布、 生育期株元散布	3回以内
ばれいしょ		3～6kg/10a	植付時	1回	作条散布	5回以内 (植付時の処理は 1回以内、植付後は 4回以内)

[変更後]

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	アセフェートを含む農薬の総使用回数
キャベツ	アオムシ コガ ヨトウムシ アブラムシ類	3～6kg/10a (1株当たり 1～2g)	定植時	1回	植穴処理	2回以内 (定植時までの 処理は1回以内、 定植後の散布は 1回以内)
はくさい	アオムシ アブラムシ類 コガ ヨトウムシ	6kg/10a (1株当たり 2g)				1回
だいこん	アオムシ コガ アブラムシ類	3～4kg/10a	は種前	1回	作条散布	1回
きゅうり	オンシツコナジラミ アザミマ類 アブラムシ類	3～6kg/10a (1株当たり 1～2g)	定植時	1回	作条散布 又は 植穴処理	1回
トマト	オンシツコナジラミ アブラムシ類	6kg/10a (1株当たり 2g)				
なす	アブラムシ類	6kg/10a (1株当たり 2g)				
ばれいしょ		3～6kg/10a	植付時	1回	作条散布	3回以内 (植付時の処理は 1回以内、植付後は 2回以内)

【変更理由】

わが国において、原則としてすべての農薬について急性暴露評価を行うことになり、今後設定が予想されるアセフェート剤の急性参照用量（ARfD）を基に検討した結果、複数の適用作物で変更する必要があると判断したため。

2) アセフェート水溶剤

【変更内容（今回の使用制限変更にかかる部分のみ）】

- ① 作物名「かんきつ」を削除する。
- ② 作物名「キャベツ」の「使用時期」、「本剤の使用回数」及び「アセフェートを含む農薬の総使用回数」をそれぞれ「収穫7日前まで」から「収穫30日前まで」に、「3回以内」から「1回」に、及び「3回以内」から「2回以内（定植時までの処理は1回以内、定植後の散布は1回以内）」に変更する。
- ③ 作物名「はくさい」の「希釈倍数」、「使用時期」、「本剤の使用回数」及び「アセフェートを含む農薬の総使用回数」をそれぞれ「1000～1500倍」を「1500倍」に、「収穫14日前まで」から「収穫30日前まで」に、「3回以内」から「1回」に、及び「3回以内」から「1回」に変更する。
- ④ 作物名「ブロッコリー」を削除する。
- ⑤ 作物名「だいこん」を削除する。
- ⑥ 作物名「トマト」、「ミニトマト」及び「なす」を削除する。
- ⑦ 作物名「ばれいしょ」の「使用時期」、「本剤の使用回数」及び「アセフェートを含む農薬の総使用回数」をそれぞれ「収穫7日前まで」から「収穫30日前まで」に、「4回以内」から「2回以内」に、及び「5回以内（植付時の処理は1回以内、植付後は4回以内）」から「3回以内（植付時の処理は1回以内、植付後は2回以内）」に変更する。
- ⑧ 作物名「茶」の「使用時期」、「本剤の使用回数」及び「アセフェートを含む農薬の総使用回数」それぞれ「摘採30日前まで」から「摘採45日前まで」に、「2回以内」から「1回」に、及び「2回以内」から「1回」に変更する。

【適用表（今回の使用制限変更にかかる部分のみ）】

[変更前]

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	アセフトを含む農薬の総使用回数	
かんきつ	ヤノネカイガラムシ ツノロウムシ ルビーロウムシ コアオハナムグリ ミカンキイロアザミウマ	1000 倍	収穫 30 日前 まで	3 回以内	散布	3 回以内	
	チャノキイロアザミウマ アブラムシ類	1000～ 1500 倍					
キャベツ	アオムシ コナガ ヨトウムシ アブラムシ類	1000～ 1500 倍	収穫 7 日前 まで	3 回以内		散布	3 回以内
はくさい			収穫 14 日前まで				
だいこん		1500 倍					
ブロッコリー	ヨトウムシ	1000 倍		3 回以内			
トマト	アブラムシ類	1000～ 2000 倍	収穫前日 まで	3 回以内	散布		3 回以内
	マメハモグリバエ	1000 倍					

(つづき)

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	アゼートを含む農薬の総使用回数
ミニトマト	アブラムシ類	1000～2000倍	収穫前日まで	1回	散布	2回以内 (定植時の処理は1回以内、定植後は1回以内)
	マメハモグリバエ	1000倍				
なす	アブラムシ類	1000～2000倍	収穫7日前まで	3回以内		3回以内
	ミカンキイロアザミウマ ハスモンヨトウ オオタバコガ	1000倍				
ばれいしょ	アブラムシ類 オオタバコガ			4回以内		
茶	チャノキイロアザミウマ チャノトリヒメコハバエ	1000～2000倍	摘採30日前まで	2回以内		2回以内
	チャノココクモンハマキ	1000～1500倍				

【変更後】

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	アセフェートを含む農薬の総使用回数
キャベツ	アオムシ コナガ ヨトウムシ アブラムシ類	1000～ 1500 倍	100～300 L/10a	収穫 30 日前 まで	1 回	散布	2 回以内 (定植時までの 処理は 1 回以 内、定植後の散 布は 1 回以内)
はくさい		1500 倍					1 回
ばれいしょ	アブラムシ類 オホシヅメハダマシ	1000 倍	2 回以内	3 回以内 (植付時の処理 は 1 回以内、 植付後は 2 回以内)			
茶	チャノキイロアザミウマ チャノミドリヒメコバエ	1000～ 2000 倍	200～400 L/10a	摘採 45 日前 まで	1 回		1 回
	チャノコカクモンハマキ	1000～ 1500 倍					

【変更理由】

わが国において、原則としてすべての農薬について急性暴露評価を行うことになり、今後設定が予想されるアセフェート剤の急性参照用量（ARfD）を基に検討した結果、複数の適用作物で変更する必要があると判断したため。